

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 2 2	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
The Epimidiology and Impact of Pancreatic Diseases in the United States 米国におけるすい臓疾患の統計、影響	
執筆者	
Lowenfels AB, Sulliva T, Fiorianti J, Maisonneuve P.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Curr Gastroenterol Rep. 2005. 7(2): 90- 5	
キーワード	
膵炎、すい臓がん 罹患率	
<p><b>要 旨</b></p> <p>米国において治療が必要なすい臓疾患では急性膵炎、慢性膵炎、すい臓がんが多い。2000年度の統計で良性膵臓疾患の有病者は115万人、1998年の統計で膵臓癌による年齢調整死亡率は人口十万人あたり男性で7.3、女性で10.5であった。すい臓がんによる死亡は年間3万人近くにのぼり、消化器疾患死亡原因の第2位を占めている。肥満と強く関連している胆石症とアルコールの過剰摂取が良性の膵臓疾患の主要な2大要因である。喫煙は現在解明されている膵臓癌の最も重要な要因である。以上より膵臓疾患を減少するためには、喫煙、飲酒、肥満といった3つの生活習慣を是正することが重要である。</p>	